

第11回 ダニと疾患のインターフェースに関するセミナー  
軽井沢大会 2003

SADI ニュース

2004年12月20日 SADI 組織員会

第11回ダニと疾患のインターフェースに関するセミナーの議事録

Proceedings of 11th Seminar on Acari-Disease Interface 2003 in Karuizawa

SADI ホームページ：<http://sadi.workarea.jp/>

第11回集会（SADI 軽井沢大会）は、以下の通り開催された。

## 1. 開催要領

ホスト：馬場俊一（日本大学医学部皮膚科）

期 日：2003年9月12日（金）～9月14日（日）の2泊3日

会 場：日本大学軽井沢研修所の講堂

（〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1052-1 TEL：0267-42-2401）

宿 泊：会場の宿泊施設および任意のホテルなど

費 用：参加費 2,000 円，懇親会費 2,000 円，疫学ツアー1,000 円

発 表：口演と討論および資料の展示

企 画：半日の疫学ツアー

## 2. プログラム

1日目 9月12日（金）

14：55 オリエンテーション（高田伸弘）

15：00 開会アドレス（馬場俊一）

15：10 信州発信 司会（柳原保武）

堀内信之：長野県佐久地方および日本の農村地域でのマダニ刺咬症とライム病の臨床疫学的研究／演題関係の症例

写真の展示 15：30 一般口演

馬場俊一：カモシカマダニ刺症と、マダニのデジタルマイクロスコープ、レーザーマイクロスコープ画像の比較

石田勝英：マダニ幼虫の大量同時寄生をみた例－経過と対応の問題点－

高田伸弘：陸奥と薩摩のボレリア／鳥獣捕獲関係の法改正の問題について展示

16:15 今日の話題「イベルメクチン」 司会（馬場俊一）

棗田 豊：基礎の立場から

大滝倫子：臨床の立場から

17:15 休憩、夕食

18:30 科研合同班会議

1. アジアにおける新興・再興感染症拡散に係る媒介動物の分布様式の解明

2001～03 基盤研究（B；海外） 代表者：高田伸弘（福井医大）／増澤ら分担

2. ユーラシア大陸におけるライム病ボレリア種の分布、維持伝播機構解明とライム病の制  
圧

2001～03 基盤研究（B；海外） 代表者：増澤俊幸（静岡県大）／高田ら分担

3. 我国の新興感染症病原体バベシアマイクロツェイの抗原多型機構と系統分類指標遺伝子  
の解析

2003～04 基盤研究（C；一般） 代表者：斉藤あつ子（神戸大）／高田が分担

上記3題の科研費調査（2002～2003年）の進捗状況、調査関連の話題、自由討論

2日目 9月13日（土）

8:30～ 12:30 疫学ツアー（白糸の滝など信濃路自然歩道でマダニ採集→浅間山中腹の六  
里ヶ原→峰の茶屋の浅

間山登山道入口で採集）、会場帰着後に標本同定会

13:30 「紅斑熱のセッション」 司会（馬原文彦）

馬原文彦：日本紅斑熱重症例の治療経験

本田俊郎：鹿児島県の日本紅斑熱発生地におけるマダニ相調査

藤田博己：長野県のマダニ類からの紅斑熱群リケッチアと野兎病菌の分離経過

田原研司：島根県における日本紅斑熱群リケッチアの疫学

14:45 休憩

15:00 シンポジウム「ライム病ー昨日、今日、明日」 司会（増澤俊幸）

石畝 史：ライム病ボレリアの世界分布ー日本および東アジアを中心に

大西 純：マダニ伝搬過程に出現する不均一なライム病ボレリア個体群

川端寛樹：ポストゲノムにおけるライム病研究新戦略と展望ーライム病ボレリア遺伝子改  
変技術の現状

大橋典男：ヒト顆粒球エーリキア症についてーエーリキア症とライム病の混合感染

James H. Oliver, Jr. : Ticks, *Borrelia*, and Reservoirs in the Southern USA - Update

17:30 休憩

18:00 懇親会／ギターと尺八の夕べ（蓮見昭夫、岸本寿男）

3日目 9月14日（日）

9:00 「エーリキアのセッション」 司会 (多村 憲)

猪熊 壽: わが国の犬寄生マダニから検出された新しい *Ehrlichia* 属病原体

稲吉 恵: 富士山麓に生息するヤマトマダニが保有するエーリキア細菌について

P. Parola: Detection of *Ehrlichia* and *Rickettsia* spp. in ticks from the Thai-Myanmar Border and Vietnam

10:00 休憩

10:15 一般口演

板垣朝夫: 不明熱疾患と Weil-Felix 反応

斎藤あつ子: アジアの野ネズミに寄生するバベシア原虫の比較検討

増澤俊幸: トルコ産イボマダニ *Hyalomma aegyptium* から見出された新規なボレリア

矢野泰弘: ヤマトマダニの唾液腺の組織学

本田俊郎: 薩南諸島におけるツツガムシ病について

藤田博己: 山形県で再確認されたタテツツガムシについて

11:45 事務連絡 (組織委員会)

12:00 閉会アドレス (ホスト、次回案内)、解散

### 3. 登録参加者名簿 (五十音順) 2003年9月8日現在

青山岳子	(日大)
浅木弘子	(日大)
石畝 史	(福井県衛環研)
池野嘉信	(福井医大)
石田まなほ	(日大)
板垣朝夫	(島根県保環研)
稲吉 恵	(静岡県大)
猪熊 壽	(山口大)
岩田典子	(福井医大)
大滝哲也	(東京都)
大滝倫子	(九段阪病院)
大西 純	(農研機構果樹研)
小河正雄	(大分県衛環研)
小河明美	
小野恵美	(福井医大)
大橋典男	(静岡県大)
J. H. Oliver, Jr.	(Georgia Southern Univ. USA)
Mrs. Oliver, Jr	
片山 丘	(神奈川衛研)

角坂照貴	(愛知医大)
川口大蔵	(静岡県大)
川端寛樹	(国立感染研)
川端日向子	
川端亮子	
川森文彦	(静岡県大)
神澤聖一	(福井医大)
岸本寿男	(国立感染研)
木下 義久	(株 キーエンス)
斎藤あつ子	(神戸大)
澤村 剛	(静岡県大)
杉山一朗	
高田伸弘	(福井医大)
田原研司	(島根県保環科研)
多村 憲	(新潟薬科大)
辻 尚利	(動物衛生研) 帯畜系
内藤博敬	(静岡県大)
棗田 豊	(萬有製薬)
棗田万喜子	
西村祐作	(静岡県大)
蓮見昭夫	
馬場厚子	
馬場俊一	(日大)
馬場俊郎	
<b>Philippe Parola</b>	(メディタレニ大, France)
平林一弘	(福井医大)
藤田博巳	(大原研究所)
古屋由美子	(神奈川衛研)
堀内信之	(佐久総合病院)
堀内同伴者	(佐久総合病院)
本田俊郎	(鹿児島県環保センタ)
牧上久仁子	(福島県医大)
増澤俊幸	(静岡県大)
馬原けい子	(馬原医院)
馬原文彦	(馬原医院)
村松紘一	(長野県衛公研)

柳原保武 (静岡市)  
矢野泰弘 (福井医大)  
山本正悟 (宮崎県衛研)  
山本徳栄 (埼玉県衛研)  
吉田芳哉 (コージンバイオ)  
渡邊むつみ (静岡県大)  
渡辺百合子 (大原研究所)

#### 4. 次回開催の予告

ホスト：SADI 組織委員会

期 日：2004年6月25日(金)～6月27日(日)の予定

会 場：鹿児島県屋久島環境文化研修センター(視聴覚室)

(〒891-4311 鹿児島県熊毛郡屋久町安房 Tel 0997-46-2900)

交 通：空路は各方面から鹿児島空港経由、海路も鹿児島港から。

案 内：常連の方々のほか、関連学会、地元関係者へ、2月頃に案内を配信、5月頃に仮プログラムを配信。

編集や事務連絡などは下記まで

- ・高田伸弘(福井大学医学部)

〒910-1193 福井県吉田郡松岡町下合月 23-3

Tel 0776-61-8330(直)

Fax 0776-52-3133(直)

e-mail acaritakada@m7.dion.ne.jp

- ・藤田博己(大原研究所)

〒960-0195 福島県福島市鎌田字中江 33 大原医療センター内

Tel 024-554-2001(235)

Fax 024-554-2014(代)

SADI 組織委員会

医ダニ学担当

- ・高田伸弘、矢野康弘(福井大学医学部)
- ・藤田博己(大原研究所)

臨床医学担当

- ・馬原文彦(馬原医院)

〒779-1510 徳島県阿南市新野町信里町 6-1

Tel. 0884-36-3339 Fax. 0884-36-3641

- ・大滝倫子(九段坂病院)

〒102-0074 千代田区九段坂南 2-1-39

Tel. 03-3262-9191 Fax.03-3264-5397

微生物学担当

- ・岸本寿男（国立感染症研究所）

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

Tel. 03-5285-1111 Fax. 03-5285-1208

- ・吉田芳哉（コージン・バイオ）

〒350-0214 板戸市千代田 5-1-3

Tel. 049-284-3781 Fax. 049-284-4784

## 後記

前年に盛大な 10 回記念大会を開催した後だけに、今大会では一息入って静かな大会に終わるかなという心配もあったのですが、ホストの馬場先生のご人徳でしょうか、そんな危惧は全く無用の盛会となりました。最も意義あることと言えば、あの医ダニ学分野の大御所である米国の J. H. Oliver, Jr. 先生にご参加いただけたことです。数年前から SADI へ参加いただくよう要望していたのですが、この年にたまたま帯広畜産大学へ招聘された機会をとらえて実現したものです。そして先生には、新進気鋭の若手研究者によるライム病シンポジウムの演題を締めくくって、米国における研究の趨勢について貴重なご講演をいただいたほか、懇親会の後で開かれたギター（蓮見昭夫氏）と尺八（岸本先生）の夕べでは、名演奏をバックに同婦人と手を取り合って即興の踊りに興じていただきました。加えて、猪熊先生のご紹介でフランスの Raoult 先生の研究室から Dr. Parola のご参加をいただき、これもアジアのリケッチア疫学につき有意義なご講演を拝聴できました。このように、国際リゾートである軽井沢において、文字通り国際レベルのセミナーとなった SADI でありました。

閉会前の全体会議では、次回開催が予定されていた山形県の都合がつかなくなった代案として、組織委員会のお世話で屋久島における開催が提案されました。交通経路の複雑さや台風など思わぬ障害の可能性も多いことが指摘されましたものの、世界自然遺産の地での開催に大方の興味が引かれ、賛同を得ることとなりました。

ところで、2~3 年前から懇親会の折に歌われつつあったのですが、岸本先生のご作曲になる「SADI ダニ音頭」の歌詞を、今大会の機会にきっちり策定することができました。それで、以下に記載して改めてご紹介させていただきます。一見はめをはずした感はありましたが、セミナーの結束を高め、討論の意義を再認識するとともに、新たな研究の意欲をかきたてるにはずいぶん役立つもので、そういった意味で、あえて本議事録に付帯したことをご理解いただきたく思います。

（文責 高田伸弘）

## SADI ダニ音頭

作詞・作曲 岸本 寿男

1. むかしむかしのそのむかし  
ケダニのたたりがあったとき  
今も忘れちゃいけません  
つつがなきやのつつがむし  
つつがなきやのつつがむし
2. ダニにも色々ありまして  
いいダニばかりじゃありません  
まちのダニほど恐くはないけど  
知らなきやときどきやられます  
人に吸いつく悪いダニ
3. ツメダニ、チリダニ、ヒゼンダニ  
マダニにトゲダニ、ツツガムシ  
まだまだいるいるダニ仲間  
ダニーボーイにダニーガール  
ダニーボーイにダニーガール
4. ボレリア、バベシア、バルトネラ  
リケッチャ、エリキア、コクシエラ  
ダニがばらまくこまりもの  
かかるかどうかは運しだい  
ダニとりツアーで運だめし

～リード～

5. 虫も好かんというけれど  
ダニを愛する変なやつ  
みんなで好きなら恐くない  
奇人変人ダニマニア  
知る人ぞ知る SADI かな

\*ダニ関連の用語は、高田による補足